



～ 県外避難されているみなさまへ～



cocconimo ふくしま

vol. 26  
2019.1

2018年11月17日 (土)

## 縁joy東北2018@千葉



「大熊町相馬流れ山踊り保存会」が華やかな衣装で踊りを披露



浪江町川添芸能保存会による伝統の川添神楽。迫力ある舞の後、獅子が観客席をまわり来場者の幸運を祈りました

11月17日、千葉県千葉市のQiball (きぼーる) 1階アトリウムで、「縁joy東北2018」が開催されました。東北の復興を応援するイベントとして震災後から開催されている「縁joy東北」は、今年が7回目の開催となります。当日は、一般来場者と関係者を合わせて500名を超す参加がありました。

ステージでは、ゆるキャラや生け花パフォーマンス、各地の伝統芸能などが披露され、会場を賑わせました。

『大熊町相馬流れ山踊り』では、伝統衣装を身にまとった総勢20名が、金銀の扇子や黒柄杓を手に、勇壮で華やかな踊りを披露しました。保存会のメンバーからは、「私たちは、宝をなくして、全国バラバラになって生活していますが、伝統を引き継ぎ、力を合わせて前向きに生きていきたいと思います。皆さんの支援に心から感謝いたします」というお話がありました。ブースコーナーでは、千葉県内の支援団体や当事者団体が、活動紹介や手作り小物の販売を行うなど、来場者との交流を楽しみました。



わかば「お茶っこ」しょう会 (千葉市) の皆さん。茶話会やイベントを随時開催しています

フィナーレでは、浪江町出身の民謡歌手原田直之さんにより、東北各地の民謡が披露されました。相馬盆唄が始まると、「じっとしてられない」と一部の参加者が踊り始め、そこに学生ボランティアが加わって踊りの輪が会場全体へと広がっていき、歌と踊りで会場が一体となって『東北復興、福島復興』への願いを込めたイベントとなりました。